

検 定 意 見 書

受理番号 107-121		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	表見返 1	左中	→ p.64	不正確である。	3-(1)	
2	6	18 - 20	Web ブラウザからインターネットを通じて利用できるサービスも普及している (⇒p.10)。	不正確である。 (「⇒p.10」)	3-(1)	
3	12	中図	●ネット決済システム	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ネット決済システム」が図中のどこを指しているか分からない。)	3-(3)	
4	15	14 - 16	MaaSとは、情報通信ネットワークを活用して、自家用車以外の移動を効率よく利用できるシステムのことで、アプリケーションソフトウェアで利用できるサービスのことである。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「自家用車以外の移動」「アプリケーションソフトウェアで利用できるサービス」)	3-(3)	
5	20	側注上	医療・介護やものづくりなどで、AIを利用した産業用ロボットの研究開発や活用が進められている。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (医療・介護用ロボットが産業用ロボットのように読める。)	3-(3)	
6	25	右下図	●ホットスタンバイ 「電源ONでスタンバイ」 ●コールドスタンバイ 「電源OFFでスタンバイ」	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「電源ONでスタンバイ」「電源OFFでスタンバイ」が動作か状態かがわからない。)	3-(3)	
7	30	下表	Sever Message	誤りである。 (「Sever」)	3-(1)	
8	35	上表	Sports.com (2か所) 以下 42ページ 中表, 下表, 下図 43ページ 右下の同表現	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
9	65	11 - 12	20.0℃, 20.1℃…のように途切れることなく連続して変化するデータを連続データ	不正確である。 (連続データではない。)	3-(1)	
10	78	17 - 18	C支店とD支店で中央値が等しいため、両支店のデータ傾向は同様といえる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中央値が等しいとデータ傾向が同様であるかのように読める。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-121		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
11	94	グラフ	横軸 個数 (個) 0 5,000 10,000 … 縦軸	生徒にとって理解し難いグラフである。 (縦軸 (金額) と横軸 (個数) が同じ値である。)	3-(3)	
			金額 (円) 0 5,000 10,000 …			
12	100	10 - 11	回帰式と呼ばれる「 $y = ax + b$ 」という一次方程式の形であらわされる。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (式と説明変数, 目的変数の関係がわからない。)	3-(3)	
13	114	28 - 29	「開始時刻」は, 利用者が並んでいない場合, 「到着時刻」(C7) となり, 利用者が並んでいる場合, 前の利用者の「終了時刻」(E7) となる	生徒にとって理解し難い表現である。 (番号1 (A7) の利用者と番号2 (A8) の利用者の「開始時間」の説明が混在している。)	3-(3)	
14	114	31	セル (D7) に「=MAX(C7, E6)」と入力する。	不正確である。 (「=MAX(C7, E6)」)	3-(1)	
15	134	17	⑤ クエリの作成 (⇒p. 141) テーブル内のデータの抽出表示, 結合, 集計などを行う。	相互に矛盾している。 (p. 141では集計を扱っていない。)	3-(1)	
16	177	19 - 20	SELECT 文のなかにSELECT 文を記述することを副問い合わせ (サブクエリ) という。 29～31行	不正確である。 (副問い合わせになっていない。)	3-(1)	
			例題4-38 IN句による副問い合わせ1 SELECT 商品コード, 商品名 FROM 商品 WHERE 商品コード IN ("RS103", "RS104");			
			178ページ 17～19行目 例題4-40 NOT IN句による副問い合わせ SELECT 商品コード, 商品名			
			FROM 商品 WHERE 商品コード NOT IN ("RS103", "RS104");			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-121		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	179	側注	補足 商品コードや数量など主キー以外の値を省略する場合は、	不正確である。 (4章5節では商品コードは主キーになっている。)	3-(1)	
18	209	2	要求分析手法	生徒にとって理解し難い表現である。 (要求分析の説明がない。)	3-(3)	
19	228	右下図	VBAProject	特定の営利企業宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
20	234	下図	1人目の通学時間30 > 最大0 → 最大30 2人目の通学時間45 > 最大30 → 最大45	相互に矛盾している。	3-(1)	
			双方に色がついている場所			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-122		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
1	iii	3	Information and Communication Technology	誤記である。	3-(2)	
2	8	下囲み	④D14に次の式を入力し, … =SUM(C\$14:C14) (以下 側注 手順④においてはD14に 「=SUM(\$C\$14:C14)」を入力し)	相互に矛盾している。	3-(1)	
3	34	側注	手順④ B14を指定する。 手順⑥ B8セルを指定して (以下右下 ゴールシークの画面 数式入力セル \$B\$14 変化させるセル \$B\$8)	相互に矛盾している。	3-(1)	
4	39	15 - 18	経路Aの続きである④→⑥の経路Cと, 経路A・経路Bの続きである⑤→⑥の経 路Dがある。経路Cは, 経路Aの12分と ④→⑥の4分をあわせた16分が所要時 間となり, 経路Dは, 経路Aの12分と⑤	相互に矛盾している。 (経路Cを, 前の文では④→⑥, 後の文では①→②→ ④→⑥としている。経路Dも同様。)	3-(1)	
			→⑥の5分をあわせた17分が所要時間 となる。			
5	51	中図	③コピーして「End Sub」の下に貼り 付け End With (間に赤い引き出し線)	相互に矛盾している。	3-(1)	
			End Sub			
6	58	側注1	…、DBMSはその問題の発生をどのよう に防いでいるのか, ということについ ては, 第2章1節で学習する。	生徒にとって理解し難い表現である。 (この側注があるのも第2章1節)	3-(3)	
7	126	中	問② (2)テーブル名「利用内容」の人数が , 「2」から「4」までの「予約ID」と 「コース」を抽出する。 …	相互に矛盾している。	3-(1)	
			WHERE 予約日 [②] 2 [③] 4			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-122		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
8	145	中図	コード Kei(4)=1 Kei(4)に1が格納される (以下 5-7行 (6)配列の要素に加算する方法 …Kei(4)に1を加算するの)	相互に矛盾している。	3-(1)	
9	171	12	A列の「予約ID」 (以下 図表3-1-26 セルA2 予約番号)	表記が不統一である。	3-(4)	
10	172	4	A18～C21の「コース名」と数量 (以下 図表3-1-27)	相互に矛盾している。 (セルの範囲)	3-(1)	
11	172	上囲み	手順 ②…D18に次の式を入力してA27までコ ピーする。 (以下 187ページ手順②)	誤記である。	3-(2)	
12	178	図	流れ図 右上 受付行の4行目から	誤記である。	3-(2)	
13	179	側注1	Left, Mid, Right関数 指定した文字数を取り出す関数である 。	誤りである。 (「文字数を取り出す」)	3-(1)	
14	185	上囲み	プログラム中 コメント 'フォームに入力されているデータを	脱字である。	3-(2)	
15	189	図左上	流れ図 日付=受付表のセル(UGyo, 3) (以下 188ページ流れ図 Yhiduke→セルB3)	表記が不統一である。	3-(4)	
16	254	上囲み	手順① [一般] タブの画面 所属部門 所属なし 扶養親族等 ホール (以下 253ページ例題4-2-5 [所属部門] ホール [扶養親族等] 1)	相互に矛盾している。	3-(1)	
			[扶養親族等] 1)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-122		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指摘事項	指摘事由	検定基準	
	ページ	行				
17	280	左下	メディアコンバータの例	生徒にとって理解し難い表現である。 (メディアコンバータの説明が無い。)	3-(3)	
18	281	図表5-2-6	共有するプリンタの設定例 (サーバ側) (クライアント側)	生徒にとって理解し難い表現である。 (ピアツーピア型のLANの構築中で混乱する。)	3-(3)	
19	290	側注	p. 289の例題5-2-2では、運用時間は「 $36+4+20+2+38=100$ 」、稼働時間は「 $36+20+38=94$ 」であり、ここから稼働率を「 $94 \div 100 = 0.94$ 」と求めることもできる。	相互に矛盾している。	3-(1)	
			(以下 289ページ 例題5-2-2 62時間 6時間 24時間 8時間)			
20	290	上囲み	例題5-2-4 例題5-2-2のシステムの稼働率を計算してみよう。 $47 / (47+3) = 0.94$ 稼働率は、0.94となる。	相互に矛盾している。	3-(1)	
			(以下 289ページ 上 平均故障間隔は、43時間となる 下 平均修復時間は、7時間となる)			
21	296	上囲み	Story 2行目 ウイルス (以下 299ページ 5行, 6行, 13行, 16行 302ページ 21行, 23行	表記が不統一である。	3-(4)	
			303ページ 上囲み, 13-14行 304ページ 上囲み, 中囲み (2か所) 305ページ 問①-(10) ウイルス (12か所)			
			49ページ 12行, 14行 273ページ 図表5-1-1 ウイルス (3か所)			
22	311	左中	RAId5 (以下 293ページ 図表5-2-17 RAID 5)	表記が不統一である。	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 107-122		学校 高等学校		教科 商業	種目 ソフトウェア活用	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
23	312	左下	クラウド・バイ・デフォルト理論 (以下 287ページ3行 クラウド・バイ・デフォルト原則)	相互に矛盾している。	3-(1)	
24	313	右中	「て」の欄 独立性	誤記である。	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。